

# 災害時の備え、できていますか？

## 避難所や避難ルートを確認を行いましょう！

市内の指定避難場所である小・中・高等学校では、ペットと**同行避難**することができます。

避難する場合に備え、ウェブサイト等で『避難所の所在地』や『避難所までの安全な避難ルート』を把握しておきましょう。

### 「同行避難」とは

災害発生時に飼い主が飼育しているペットと同行し、避難所まで安全に避難することです。避難所で人とペットが同一の空間で居住できることを意味するものではありません。



川口市の避難場所・避難所一覧  
(川口市ホームページより)

## ペットのしつけと健康管理を行いましょう！

避難所でのペットの飼養においては、人や他の動物を怖がったり、むやみに吠えたりしないこと、ケージやキャリーバッグに慣れていること、決められた場所で排泄できることなどが必要になります。

また、普段からペットの健康管理に注意し予防接種やノミなどの外部寄生虫を駆除するとともに、トリミングなどを行いペットの体を清潔に保ちましょう。

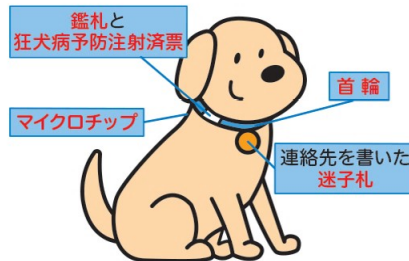
### 健康管理としつけのポイント

- ✓ 犬「待て」「お座り」「伏せ」などの基本的なしつけをする
- ✓ 犬 むやみに吠えないようにする
- ✓ 犬 狂犬病予防注射接種(義務)
- ✓ 犬 犬フィラリア症の予防
- ✓ 猫 室内で飼養する(放し飼いと災害時に行方不明になることが多い)
- ✓ ノミ・ダニなどの寄生虫の予防・駆除
- ✓ 各種ワクチンの接種
- ✓ 日頃からケージに慣らす
- ✓ 決められた場所で排泄できるようにする
- ✓ 人や他の動物に慣らす
- ✓ 身体を清潔に保つ
- ✓ 不妊去勢手術の実施

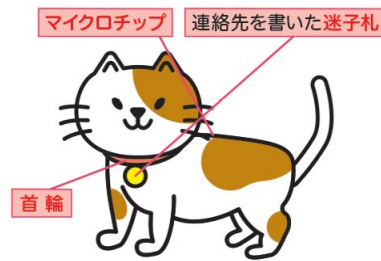
## 逸走防止対策と所有者明示を行いましょう！

災害発生時には、驚いたペットが逃げてしまい、迷子になってしまう可能性があります。保護された際に無事に飼い主の元に戻れるよう、普段から身元を示すものをつけましょう。さらに、首輪などが取れてしまったときの確実な身元証明として**マイクロチップの装着**といった二重の対策を取りましょう。

### 犬の場合



### 猫の場合



## 自宅の防災対策を行いましょう！

災害に備えて、人とペットが安心して暮らせる準備をしておくことが大切です。例えば、住まいの耐震強度の確認や補強、家具の転倒・落下防止措置、ガラス窓の飛散防止措置などを行い災害時に備えましょう。

犬を屋外で飼養している場合は、飼養場所の周囲にブロック塀やガラス窓など破損や倒壊のおそれのあるものがないか確認しましょう。

## 備蓄品や避難用具を準備しておきましょう！

災害発生時にはペット用品が手に入りやすくなることが考えられます。

また、原則として避難所にはペット専用の備蓄品はありませんので、万が一に備えて、ペットの防災用品を準備しておきましょう。

特に、薬を服用していたり、療法食が必要な場合は命にかかわりますので、必ず備蓄しておきましょう。

## 備蓄品チェックリスト

### 優先順位1…命や健康に関わるもの

- 療法食、薬
- フード、水  
(少なくとも5日分[できれば7日分以上])
- 首輪、リード(伸びないもの)
- キャリーバッグやケージ
- ペットシート
- 排泄物の処理用具
- 食器

### 優先順位2…飼い主や動物の情報

- ペットの写真(印刷物とともに携帯電話などに画像を保存しておくことも重要)
- 飼育記録・飼育手帳(ワクチンの接種状況、既往歴、かかりつけの動物病院などの情報)

### 優先順位3…ペット用品

- タオル、ブラシ
- ウェットシート等
- ビニール袋
- ガムテープ、新聞紙、マジック  
(ケージの補強等に使用)
- お気に入りのおもちゃ
- 洗濯ネット(猫の保護や保定の際に使用)